

<<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>>

28 農病防第 49842 号
平成 28 年 9 月 28 日

各関係機関長 殿

香川県農業試験場病害虫防除所長
(公印省略)

平成 28 年度病害虫発生予察注意報第 10 号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成 28 年度 病害虫発生予察注意報 第 10 号

1. 病害虫名： **カキ炭疽病**
2. 対象作物： **カキ**
3. 発生が予想される地域： **県下全域**
4. 発生程度： **多**
5. 注意報発表の根拠
 - 1) 9月23、26日に実施した果実の発生調査では、発生圃場率が61.1%（平年：36.7%）、発病果率は1.7%（平年：3.0%）であり、発生圃場率が平年より高かった（第1表）。
 - 2) 本病害については、平成28年7月12日付け病害虫発生予察注意報第6号を発表して防除の徹底を促したところである。梅雨明け後は降雨が続かなかつたことや薬剤防除が行われたことにより8月下旬には発生圃場率及び発病果率が低下したが、今回の調査において再び増加している。
 - 3) 9月20日の台風16号の風雨やその後の降雨により、病原菌が拡散して果実への感染が多くなると考えられる。また、今後の気象は、前線や湿った空気の影響を受け、降水量は多いと予想されており、炭疽病の発生に助長的であるため、今後本病害がさらに多発生することが予想される。

第1表 カキ炭疽病の発生状況

年次	7月上旬		7月下旬		8月下旬		9月下旬	
	発生圃場率 (%)	発病果率 (%)	発生圃場率 (%)	発病果率 (%)	発生圃場率 (%)	発病果率 (%)	発生圃場率 (%)	発病果率 (%)
2006	-	-	0	-	0	-	33.3	2.0
2007	-	-	0	-	0	-	0	-
2008	-	-	0	-	5.6	1.0	11.1	1.1
2009	-	-	0	-	11.1	1.0	33.3	1.5
2010	-	-	5.6	1.0	5.6	1.0	5.6	0.1
2011	-	-	22.2	1.5	44.4	4.8	72.2	10.0
2012	-	-	5.6	2.0	5.6	1.0	44.4	1.6
2013	-	-	0	-	0	-	33.3	1.5
2014	-	-	0	-	44.4	1.9	61.1	3.5
2015	-	-	0	-	22.2	1.0	72.2	5.9
2016	15.4	1.8	16.7	2.7	11.1	1.0	61.1	1.7
平年	-	-	3.3	1.5	13.9	1.7	36.7	3.0

6. 防除対策

- 1) 薬剤防除を第2表を参考にして早急に行う。薬剤防除はかけむらのないよう丁寧に散布する。降雨が続く場合は、降雨の合間に散布する。
- 2) 圃場内をよく観察して、発病果実や発病枝は見つけしだい除去し、圃場外に持ち出すなど適切に処分する。前年に発生が確認された圃場では特に注意する。
- 3) すでに収穫が始まっている品種もあることから、薬剤防除の際には収穫前日数及び使用回数に注意する。

第2表 カキ炭疽病の防除薬剤(香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋)

作用機構のグループ名	薬剤名	希釈倍数	使用時期/使用回数
QoI殺菌剤	アミスター10フロアブル	1,000倍	収穫7日前/3回
	ストロビードライフロアブル	3,000倍	収穫14日前/3回
	フリントフロアブル25	2,000~3,000倍	収穫前日/3回
N-フェニルカーバメート +MBC殺菌剤	ゲッター水和剤	1,000倍	収穫7日前/3回
QoI殺菌剤+SDHI剤	ナリアWDG	2,000~3,000倍	収穫前日/2回



写真1 果実の病斑



写真2 枝の病斑

病害虫防除所インターネットホームページ

URL:<http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>